

講義名	日本語C（書く）			授業形態	
担当教員	野村 由香里	開講期・曜日・時間	前期 火曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

大学ではレポートの作成、また、卒業論文の執筆が必須である。そこで、この授業では論述文の書き方を基礎から学習する。具体的には、話し言葉と書き言葉の違い、論述文に合う文体、文章の要約、また、文章全体の構成、参考文献の書き方等、順を追って学習していく。

到達目標

留学生が大学でレポートや論文を書く際に必要な基礎知識を身に付けられるようになる。

提出課題

授業中に指示

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業中に個別に指示

評価の基準

授業中の課題点（60％） 中間・期末テスト（40％）

履修にあたっての注意・助言他

1. 出欠確認は毎回点呼を行う
2. 5 回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3. 授業が始まって 1.5 分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻 3 回で 1 回の欠席となる
4. 1.5 分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5. 授業時には辞書を携帯すること

教科書

.使用しない。

参考図書

.小論文への12のステップ。 友松悦子 スリーエーネットワーク 1600 9784883194889

その他

『大学で学がための日本語ライティング』 佐々木理枝他著 The Japan Times 2006 ISBN4-7890-1221-2
『留学生のための論理的な文章の書き方』 二通信子著 スリーエーネットワーク 2008 ISBN978-4-88319-257-1 C0081

授業計画

第1回目 授業内容や評価などの説明/表記の仕方！
予習内容：シラバスをよく読んで、この授業でどんなことを学び、どんなことができるようになるかを熟知しておく。（60分）
復習内容：授業中に学んだ「表記の仕方」に関する項目を見直し確認するとともに、実際に文章を書く中で応用練習を行う。（180分）

第2回目 表記の仕方2
予習内容：配布された資料に目を通し、どんなことを学習するのか、また、未知の語彙や表現がないか、確認し調べておく。（120分）
復習内容：授業中に学んだ「表記の仕方」に関する項目を見直し確認するとともに、実際に文章を書く中で記号などを使い応用練習を行う。（120分）

第3回目 文体
予習内容：配布された資料に目を通し、どんなことを学習するのか、また、未知の語彙や表現がないか、確認し調べておく。（120分）
復習内容：授業中に学んだ「文体」に関する項目を見直し確認するとともに、他の文章も読みだり書いてみる。（120分）

第4回目 話し言葉と書き言葉
予習内容：配布された資料に目を通し、どんなことを学習するのか、また、未知の語彙や表現がないか、確認し調べておく。（120分）
復習内容：授業中に学んだ「話し言葉と書き言葉の違い」をよく見直し確認するとともに、他の文章も読みだり書いてみる。（120分）

第5回目 小論文によく使われる表現
予習内容：配布された資料に目を通し、どんなことを学習するのか、また、未知の語彙や表現がないか、確認し調べておく。（120分）
復習内容：授業中に学んだ「小論文」によく使われる表現、等をよく見直し確認するとともに、他の小論文も読んでみる。（120分）

第6回目 段落
予習内容：配布された資料に目を通し、どんなことを学習するのか、また、未知の語彙や表現がないか、確認し調べておく。（120分）
復習内容：授業中に学んだ「段落」という項目に関し、見直し確認するとともに、自分で段落を考えた文章を書いてみる。（120分）

第7回目 要約文を書く！
予習内容：配布された資料に目を通し、どんなことを学習するのか、また、未知の語彙や表現がないか、確認し調べておく。（120分）
復習内容：授業中に学んだ「要約文」の項目を見直し確認するとともに、自分が読んだ他の文章を要約してみる。（120分）

第8回目 要約文を書く2
予習内容：配布された資料に目を通し、どんなことを学習するのか、また、未知の語彙や表現がないか、確認し調べておく。（120分）
復習内容：授業中に学んだ「要約文」の項目を見直し確認するとともに、自分が読んだ他の文章を要約してみる。（120分）

第9回目 中間理解度試験の実施及びその解説
予習内容：中間で学習した項目をよく復習しておく。（180分）
復習内容：中間試験を振り返り、よく見直ししておく。（60分）

第10回目 意見文を書く！
予習内容：配布された資料に目を通し、どんなことを学習するのか、また、未知の語彙や表現がないか、確認し調べておく。（120分）
復習内容：授業中に学んだ「意見文の書き方」を見直し確認するとともに、他のテーマで意見文を書く。（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の修得は流通科学大学の定めるディプロマポリシー「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の育成に關与している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考